



会
報



東京出雲崎会

会長 佐藤 憲一

発行 内藤 久吉

〒188-0013 西東京市向台町4-21-45-418

電話 0424-69-1426

平成19年度

第9号

2月吉日

参加者の胸中に
思い出の感動

平成18年度

260名が集う

東京出雲崎会総会・懇親会



↑ 昔とった杵柄で挑戦？



新しい獅子頭も披露されました。↑



♪いやひこ かくだ よねやまの 姿けだかき…
なつかしい出雲崎小学校の校歌を合唱

おけさは「甲友会」合奏・独奏。出雲崎は、高橋出雲崎町議会議長の乾杯で開宴津軽三味線の曲弾・合奏・独奏。出雲崎

全員で万歳三唱でお願いとなりました。

当日は来賓の方々を含め会員合わせて約二六〇名が参加。全員で黙祷のあと、開会の辞、会長挨拶と続き平成十七年度の行事経過報告と会計報告等があったのち小林出雲崎町町長と米山新潟県人会会長（代読）からお祝辞がありました。

毎回大変な盛り上げを見せている東京出雲崎会の総会・懇親会が平成十八年三月十一日（土）錦糸町駅前のレストランで開催されました。



ふるさとの唄も踊りも心地よく。



活力を貰い、明日にむかって万歳三唱。

創立65周年
平成19年度 東京出雲崎会

「定時総会・懇親会」開催のご案内

懐かし！
嬉しい！
元気が出ます。

◎日時…平成19年 4月14日（土）
受付開始…午前11時より
開会…12時 閉会…午後3時30分

◎場所…錦糸町 東武ホテルレバント東京
4階「錦」（4階全部使用）
（東京都墨田区錦糸1-2-2 ☎ 03-5611-5511）＝別紙地図参照

◎会費…合計12,000円
（年会費1,000円＋総会懇親会費11,000円）

●お問い合わせは……事務局・東條まで
携帯電話 090-8008-8077

FAX 03-5717-3443

変わります

日時と場所が
昨年までと
違います。

会長挨拶

会長 佐藤 憲一

皆様お元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。

日頃当会に対し御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

お陰様で今年で東京出雲崎会は創立六十五周年を迎える事が出来ました。

当会も年々少しずつではありますが、先輩のお力添いと会員の皆様方の御協力のおかげと心よりお礼を申し上げます。



先輩のお力添いと会員の皆様方の御協力のおかげと心よりお礼を申し上げます。

幹事長挨拶

幹事長 内藤 久吉

会員各位にはご壮健にて益々のご発展とお慶び申し上げます。

日頃のご理解とご力添えを頂戴致し厚くお礼を申し上げます。

当会は今年創立六十五周年になります。先輩方々の偉大なるお力に深く敬意を表するものであります。

故郷出雲崎を熱愛する情熱は連綿として引継がれてゆくものと確信致しております。



井之鼻会、石井町俱樂部、羽黒町会、尼瀬会と続々と町内会・

今年の総会はロッテプラザが内装工事の為、使用が出来ず、同じ錦糸町駅近くの東武ホテルレバント東京へと変更になり、期日も四月十四日(土)に変わりましたので呉々もお間違いない様に御願い申し上げます。会場はロッテプラザよりも立派でございいますので皆様お誘いの上大勢御出席下さいませよう役員一同お待ち申し上げます。

念願でありましたインターネットを正式に開設いたしました、皆様方に充分ご活用頂き又皆様からの情報をお待ちいたしております。

今後とも皆様方の変らない御理解と御協力を賜り七十周年に向って行きたいと思っております。宜しく御願い申し上げます。

倶楽部が立上っております。会員各位の会に対するご理解とご協力の賜物と衷心より厚く御礼を申し上げます。

総会会場が錦糸町の東武ホテルレバント東京に変わりますが、四月十四日には昨年以上のご参加をお待ち申し上げます。

念願のホームページも開設の運びとなりました。各位のご活用と沢山の情報をお待ち致します。出雲崎町のHPとリンク致しておりますので、出雲崎を愛する方々と双方の情報交換が出来ますし、会発展の強力な武器となりました。

格段のご理解とご協力を賜りたく宜しく御願い申し上げます。

東京出雲崎会 協賛行事

東京出雲崎会では、ふるさと出雲崎の発展・繁栄を願って、皆様からの浄財(総会費及び年会費等)から種々協賛させて頂いております。

昨年度も、八月十二日に四年ぶりに開催された「夕日コンサート」や十五日の出雲崎の伝統行事「船まつり」に協賛いたしました。

又、同日夜に開催された花火大会には、超大型の打ち上げ、町民の方や帰省中の皆様にも楽しんで頂いたものと確信いたしました。

これからは、ふるさと出雲崎が元気な町であること、雲崎が元気の町であること、を祈り、皆様と共に応援を送りたいと考えております。皆様の御理解・御協力を心よりお願いいたします。

四年ぶり開催の「夕日コンサート」



出雲崎の花火

写真右下は → 勇壮な「船まつり」

「東京出雲崎会ホームページ」を開設します。

<http://www2.odn.ne.jp/~chj13670>

URLアドレスは、アドレスバーに小文字でベタ打ち入力してください

: コロン / スラッシュ . ドット ~ チルダ (「shift」キーを押しながら「へ」のキーを押す)

首都圏又は圏外で居住されている、出雲崎町出身の皆様方に「東京出雲崎会」の活動様子を逐次お伝えして行きたいと思っております。又、故郷<出雲崎町>の情報ともリンクしておりますので、どうぞ御覧下さい。パソコンをお持ちでなくとも、ご家族やお子さん、お孫さんのパソコンを覗いて「東京出雲崎会」の活動状況を楽しんでください。

ご家族・ご親戚の方々に季節の挨拶ハガキ等を出す時には、会報に同封しました「シール」を貼付して。大勢の方に見ていただければ幸いです。

- 3月開設を目標にしておりますが、とりあえずURLを取得いたしました。(お気に入り)に追加して下さい。
- 情報が有りましたら「東京出雲崎会」事務局(下記)までご一報ください。
= 情報受付先は ⇒ 携帯 090-8008-8077 FAX 03-5717-3443 (東條)まで =
- ホームページ作りに取り組んでくださる方を募っております。



出雲崎町のホームページは URL <http://www.town.izumozaki.niigata.jp>

第2回 東京出雲崎会 石井町倶楽部懇談会

出雲崎からも参加・・・総勢40名が出席



は？と
余裕十
分であ
る。

地元
出雲崎
から太
夫さん
舞も参
加して
「餅つ
き・鯛
釣り」
と舞つ
た。
そこに
は子供
の頃の
顔と顔
があつ
た。
今回は
太鼓の
無い、

カネと笛だけのチャンチャコチ
ヤンをやったが、今一つ締まら
なかった、それでも心に懐かし
さが沸いた。出雲崎おけさは広
々としたスペースで心ゆくまで
踊った。

この様に三時間半の時を過ご
し、終了後「また来年ね！」と
親族・仲間等々のグループに別
れて、カラオケ・アメ横・上野
広小路へと三三五五と……。

又、元気で会いましょう。

(誠)

羽黒町出身者で楽しく発足

第一回「羽黒町会」を開催

十一月二十五日(土)小春日
和の中、午後1時より御徒町
・吉池7階の宴会場にて「第
一回羽黒町会」の懇親会が老
若男女三十九名が参加して盛
大に行なわれました。

世話人よりまず会の発足に関
する主旨説明を行い全員での
乾杯から始まり、一人一人に
自己紹介をやってもらいまし
た。もちろん屋号も入れての
自己紹介です。紹介のさなか
懐かしさに盛んに「ああ、
おめさん○○のあんちゃん
かね、○○のねえちゃんか
ね」と言う出雲崎弁も盛ん
に飛び出してきました。宴
もたけなわになった所で、
やはり出雲崎の宴会には「
おけさ」が欠かせません。
歌い手・踊り手も揃いまし
たので皆さんで輪踊りを行
ないました。楽しい時は光
陰の如く過ぎ去るもので定
刻の四時前に全員集まって
集合写真を撮りました。

終了後二次会に行く人、
家路に帰る人等いろんなグ
ループに分かれて解散にな
りました。長い一日の終了
でした。
今回は発足会と言うことで
もあり沢山の方にお集まり



頂きたいと思いましたが、案
内状を出す名簿の関係もあり
羽黒町出身の方々すべてに
案内を出すことが出来ません
でした。次回の「第二回羽黒
町会」には、羽黒町出身の方
々は是非ご参加下さい。

開催予定は平成十九年九月
末、十一月初め頃を目標に開
催したいと思っております。
皆様方のご参加を期待し
ております。

勝見・尼瀬会(仮称)が設立準備

第1回開催は2月24日 新宿・鍋茶屋

平成十八年十月下旬、「七八
会」「さざなみ会」「はのこの
会」の有志が新宿の鍋茶屋に集
まり「会」設立の件で、テー
ブルを囲んでお互いの考えを出し
検討しました。井之鼻会や石
井町倶楽部等も設立されている
“などの話し合いの中で、以前
は豊州会などがあつたが会う機
会も少なく自然消滅しているよ
うな状態で陣屋だけでは集まり
も少ないし、今回は一層の事、
勝見地区から岩船町までの「勝
見・尼瀬会」(仮称)なるもの
を造るうではないか、取りあえ
ず年代が似通った者同志の寄り
合いの方が会話や物の価値観も
大体似ている。と言う事で話が
纏まりました。

まずはスタートす
ることにして、第一
回の集まりは、平成
十九年二月二十四日
鍋茶屋に集合するこ
とにいたしました。
今後に乞うご期待！
尚、発起人及び事
務局は左記の通りで
す。

発起人：大谷 三郎

(七八会)

佐藤勝之助

(さざなみ会)

加藤 進康

(はのこの会)

事務局：小林 治男

(さざなみ会)

古稀

「集まれば気持は何時も中学生」

昭和二十七年卒業の二七会・故郷に集う

「二七会」は毎年六月に一泊で同級会を実施して来ました。

三十一回目となる今回（平成十八年）は皆が古稀を迎えます。

六月十七日、町の祭礼に合わせて「佐平次」で恩師の保田・笠原の両先生をお迎えし四十四名が集いました。

懐かしい友の顔を見たたん「やだねー、へえしつちゅ（七十）だね」「どうしよばこて」「だどもオラ（俺）の同級生は皆んな若けネー。そんげ年には見えねでね」等々お互いに慰め合ったりして玄関から大騒ぎでした。

会の始めに亡き友の冥福と参加者の健康を祈ってお祓いをしていただき、先生の乾杯の音頭で祝宴が始まりました。

宴たけなわ、フラダンスを披露する人、振じり鉢巻きで太鼓や笛で、ちゃんちゃこちゃんの囃子を打鳴らす者、皆んな若いわかい、たまげる程。

夕方、御神輿に合わせ、会は一時中断して賑やかな町へ、夜店がならぶ町を心ゆくまで



古希記念 二七会 平成18年6月17日 於 佐平次

散策し、八時からの二次会でも喋ったり笑ったり、ますますぼつきやがつてしもうて、心は皆んな中学生のようです。

最後に古稀の記念に八月の花火大会に「スターマイン」を打ち上げる事を決定し、楽しい思い出を「ふつとつ」抱えて来年の再会を約し散会しました。

尚、未だ喋り足らん人は長岡の奥の蓬平温泉にもう一泊しました。

(S・O)

還暦を迎えて

「三七寛の会」

出中第15回卒業生=61名が集い祝う会



昭和三十三年三月に出雲崎中学校・第十五回卒業生として学び舎を巣立った学友九十七名は平成十八年（十九年の方）もいまますが）還暦という佳節を迎えました。

その同級会が六月十七日、出雲崎のお祭りに合わせ『還暦を祝う会』として良寛堂の隣りの「まるこ」にて開催しました。当日は前日の雨もどこへやら梅雨の晴れ間か？快晴の暑い一日となりました。

東北・関西・関東をはじめ県内及び地元の同級生が良寛堂前

に集合、総勢六十一名が集いました。

開会に先立って、慈観寺の本堂にて亡くなった同級生の供養お祓いを受けたのち良寛堂を背に記念写真を撮り会場に移動しました。

いよいよ祝う会の始まりです。乾杯の後はおしゃべりの花ざかり、「なつかしいネ」「久しぶりだネ」とそれぞれ思い出話はつきません。

途中、御神輿渡御にあわせて中をいれ賑やかな外へ、露店神輿・チャンチャコチャン、そ

れに多勢の人達で町はたいへんな賑わいです。御神輿が無事納まったところで会場にもどって宴を再会。肩を寄せあつての談笑は明るく楽しく永々と続きます。しかし、ついに区切りをつけなければならぬ時が来ました。五時間半にも及ぶ、長くて、短い祝宴でした。地元世話役をはじめ東京方面の世話役の皆さんお疲れ様でした。次も元気でおいししましょう。楽しみにいたしております。

(E・N)

十九年度は
こちらの方です

喜寿Ⅱ「午朋会」

（昭和十八年三月）

出雲崎小学校卒業）

おめでとうございます。

古希Ⅱ「一二美会」

（昭和二十八年三月卒業）

平成十九年六月十六日

出雲崎町「みよや」にて

同級会を開催します。

おめでとうございます。

還暦Ⅱ「かもめ会」

（昭和三十八年三月卒業）

おめでとうございます。

隅田川花火大会

屋形船で20,000発を堪能

ねらの会 (出中第10回卒業生)



↑ 隅田川花火大会に集ったねらの会の美女・美男?一行
大満足のひとときを過ごしました。(船着場にて)

花火と厩橋シルエット (写真右、屋形船船上より撮影) →

「ねらの会」では関東在住者を中心に屋形船を貸切り平成十八年七月二十九日(土)、隅田川の花火大会を観賞しました。当日は午後三時半船宿前に集合、四時に乗船していざ出航。停船したところは、なんと第二打上げ場所が目前の厩橋脇に陣取りました。そこからは第一会場で打上げられる花火も望むことができました。隣にはテレビ東京の報道陣を乗せた屋形船があり、最高の場所での花火見物となりました。



梅雨明け宣言の前夜となった夜空に、一時間半の間に打上げられる二万発を超える色とりどりの大輪の華に圧倒されながら何時もの会話も途切れ、時の経つのも忘れて花火見物に没頭。生涯の良き思い出となりました。

浜友会

同期会開催

佐平次に70名が集う

出雲崎中学校第十二回卒業生(昭和三十四年卒業)で構成される浜友会の同期会が十月七日、出雲崎・天領まつりに合わせ、佐平次にて七十名が出席して盛大に開催されました。

当日はあいにくの荒天となり佐渡と弥彦を背景に記念撮影を計画していましたが、急遽町民センターに変更、移動して撮影をするという(写真・下)ハプニングのスタートとなりました。



浜友会 同期会 平成18年10月7日 於 佐平次

翌日は時代祭りや街並みギャラリーを観て浜焼きをお土産に故郷を後にしました。

浜友会では還暦の時は(平成十五年)百人の出席者で前例のない六月のお祭りに岩室温泉で実施いたしました。平成十六年には水上温泉で実施しましたが開催中に中越地震に見舞われ怖い思いをしました。幸いにも怪我人はいりませんでした。翌日新潟方面へ帰宅の人は大変な苦

富士山の町・御殿場で!

東京やぶち会 懇親会



労をした様です。いろんなことがあります、同期生としての絆を大切に、これから親交を深めつつ楽しく集って行きたいと思えます。

昨年10月29、30日。絶好の行楽季節に「東京やぶち会」の有志十八名は富士山の町・御殿場で一泊二日の懇親会を開催しました。温泉も身体に染み透り、元気を頂き、夕食も選り取り見取りで、しかもビールを五種類も飲み、大満足いたしました。翌日は時之柄美術館、手作り工房などを見学、自然木の雄大さにはとても感動いたしました。御殿場プレミアムアウトレットでは、男性群と女性群に別れて三時間近く楽しいひとときを過ごすことも出来ました。一生忘れえぬ思い出を最高のおみやげに、御殿場からロマンスカーで帰路に……それぞれ散会いたしました。

北前船の伊万里焼大皿

出雲崎港の船主の子孫が寄贈

新聞版(新潟朝日)で紹介

当会役員の千代田耕治氏の関連記事が昨年十月六日付け朝日新聞の新潟版「ぶんか探訪」に表記タイトルで掲載されましたので以下本文を紹介いたします。

江戸時代から明治初期にかけて出雲崎港は佐渡の金銀や越後の米が集まる日本海の北前航路の要所だった。当時の繁栄を伝える資料館「天領の里」(出雲崎町尼瀬)で、北前船の船内で使われたという伊万里焼の大皿4枚が展示されている。(写真掲載は本紙面では省略)

上が沿岸に密集して暮らしていたという。大皿を寄贈したのは、出雲崎出身で先祖が北前船「明神丸」で貿易をしていた埼玉県川口市の石材業、千代田耕治さん(67)。「売ってお金に換えるより、地元で大切に残してほしい」と、8月に贈った。直径28×42センチの大皿には、山水の風景画や草の模様、紺色で描かれている。揺れる船内でも割れにくくしたためか、厚みが1センチ近いものもある。

同港は佐渡の金銀を陸揚げする港として江戸幕府の直轄地となり、江戸末期から明治初期に全盛期を迎えた。天領の里によると、現在の人口約5500人に対し、明治初期には2万人以上が天領の里の三輪正支配人(60)は「骨董品としての価値も高く貴重なもの。日常的に使ったのではなく、港に停泊した時など祝の席で利用されたのだろう」と説明する。(以上本文転記)

平成18年度 東日本優秀演奏発表会

「こども音楽コンクール」

出雲崎中学校・吹奏楽部が連続出演

東京の文京シビックホールにて平成十八年度のこども音楽コンクール・東日本優秀演奏発表会が12月3日開催され出雲崎中学はBブロック中学校管楽合奏部門に連続出演、部員33名による組曲「マ・メール・ロワ」からI、眠りの森の美女のパヴァーⅢ、パコダの女王レドロネⅤ、妖精の園が演奏、昨年に続き連続の「優秀賞」を獲得。今後大いに期待されます。



出中・吹奏楽部の可愛い後輩たち

出雲崎で休日を楽しみませんか。優良店ご紹介！

地魚和食料理・離れ宿 くるまや (尼瀬) ☎ 78-2148	地魚料理でおもてなし たまきや (岩船町) ☎ 78-2171	良寛堂脇、料理自慢の店 まるこ (石井町) ☎ 78-2263	玄関の奥に日本海 おやど 堀善 (石井町) ☎ 78-2051	日本海の海の幸 山崎旅館 (石井町) ☎ 78-2012	国登録有形文化財の宿 みよや (羽黒町) ☎ 78-3181	心なこ味わいの宿 佐平次 (羽黒町) ☎ 78-2116
---	--	--	--	---	---	---

イベント豊富／ぜひお越し下さい

越後出雲崎 天領の里

〒949-4308 三島郡出雲崎町大字尼瀬6-57
TEL 0258-78-4000 FAX 0258-78-4770

越後の地酒と笹だんご

本年も出店させていただきます。

新潟の地酒 (主な取扱銘柄)

久保田 (朝日山) 銀の罫 (越の峯)
清 泉 (和島村) 良 寛 (美の川)
他銘酒各種取り揃えております

—— 全国発送いたします。——

株式会社 **つるや**

代表取締役 荒 木 啓 之
出雲崎町川西58 (出雲崎駅前)
電話 (0258) 78-2233 (代) FAX (0258) 78-4236

伝統が光る

井之鼻会

良寛堂で共に遊んだ
竹馬の友の集い

石井町倶楽部

《 企 業 理 念 》

家づくりは
人づくり
喜びづくり
感動づくりである

日本住宅総合サービス(株)

〒136-0076 東京都江東区南砂 6-11-17
TEL 03-3648-8575 FAX 03-3648-1966

生鮮海産物加工販売

今年もイベント広場に出店させていただきます

お土産に喜ばれる一品

★いかの白作り ★北前漬け
★鯨でんぶ ★鯨の親子漬け
★その他漬物

……お問い合わせ・お申し込みは下記まで……

株式会社 **船橋屋商店**

代表取締役 三 輪 浩 一
三島郡出雲崎町石井町490
電話 (0258) 78-2041 (代)

「第八回文化祭」

東京出雲崎会から
三名が出品

恒例の東京新潟県人会主催の「第八回文化祭」が東京・上野の県人会館にて11月24日、26日迄の三日間開催されました。

これには東京出雲崎会のメンバー三名が出品いたしました。

なかでも高崎郁津子さん（石井町出身・旧姓布矢）の絵画「花瓶」と石原ミツ子さん（稲荷町出身・旧姓雁金）のフランス刺繍「菊」は大変な力作で観る人に感動を与える作品でした。紙面ではその迫力はとうていお伝え出来ませんが、掲載させて頂きます。



「花瓶」→「菊」→

個性の花園！！

羽黒町会

ご紹介

ください！

東京出雲崎会では、只今、新会員を募集中です。皆様のお近くに出雲崎出身者がおられましたらご紹介下さい。特に三十代、五十代の方には参画頂きたく、皆様のご協力宜しくお願い致します。組織委員会

はこの会

奥利根路に集う

18名による一泊旅行

平成十八年五月初旬、総勢十八名による一泊旅行会が行われた。新年会や東京出雲崎会総会・懇親会等と会ったばかりなのに、なぜかまた旅行会に足が向く。同級の友との会話は、其の都度新鮮に思える今日この頃である。

水上温泉、やすらぎの宿「みやま」に、新幹線とローカル線を乗り継いでのんびりと来る人や、自家用車で宿に直行の人など集合手段は自由。素敵な宿の女将さんの出迎えをうける、宿は昔の庄屋屋敷を移転改築したもの、黒光りした太い梁や重厚な柱が目に映る。一〇〇年も昔から休まず時を刻んでいる大きな古い置時計。有名・知名人の手による日本画や水墨画、南極大陸から観測船が持ち帰った貴重な「石」も飾られている立派な宿である。日常の疲れを癒すには新緑が優しく映り若葉の香りを胸一杯に吸い込んでの天然温泉。ゆつくりとつかり、身も心もリラックス、リラックス。間もなく和気藹々の宴会の始まりである。地元の旬の食材をふんだんに盛り込んだ会席料理。取立ての山の幸・里の幸や川魚料理が、お膳に所狭しと豪華に並び絶品・珍味に舌鼓の連続。



やがて友人が民謡を唄い尺八を吹く。飄々と響き渡り、聞き入る人はしばし望郷の念を呼び起こす。その後お決まりのカラオケ大会が始まり、各自持ち歌の披露で春宵も更けてゆく。明けて翌日、宿の車で奥利根の大自然探索に、残雪深い上信越高原だ。壮大な谷川岳が眼前に聳えて来る。岩燕の群れや野鳥が乱舞し歓迎しているようだ。バスはさらに藤原ダム・胴元湖を通過し「ならまた湖」が眼前に広がる。見る者の目を奪う奥利根の雄大な自然風景だ。それは神秘的な美しさで天空や新緑の樹木を水面に映し満面に水を湛える。また大きく深い「奈良俣ダム」サイトは奈落の底に吸い込まれそうな錯覚に思わず足が竦む。時間の経過を忘れて、いつもより大きな深呼吸をし心地よい疲労感で車中の人に。

奥利根に
幼き名で呼ぶ 五月晴れ
谷川のせせらぎに舞う
岩燕（忠夫）

平成19年度の事業予定

- 2月10日（土）役員会 定時総会役割分担・本年度活動方針 他
東武ホテルレバント東京（錦糸町）
- 4月14日（土）19年度 定時総会
懇親会 東武ホテルレバント東京
- 5月19日（土）役員会 総会の結果と反省
新年度予算&活動方針の審議
- 7月7日（土）各委員会・役員会 行事参加と出費審議
諸行事報告と取りまとめ
来年度総会会場等の打合せ
- 8月15日（水）船まつり・花火大会（予定）
- 8月16日（木）出雲崎町成人式（予定）
- 9月上旬 会報第10号・各委員会代表との合同会議
- 10月～11月中 会報発行準備及び原稿締め切り
- 11月17日（土）役員会 来年度総会の件 会場案内状の件
会報10号・各行事参加報告
- ……… 平成19年度「新潟県人会関係」他 ………
- 1月8日（月祭）新春祝賀会 東京新潟県人会
- 2月25日（日）新潟出雲崎会「総会」
- 5月19日（土）東京新潟県人会「定時総会」
- 7月16日（月）海の日 東京新潟県人会「納涼大会」
- 10月19～21日 作品展 （県人会館）

「編集後記」

こども音楽コンクールに行きました。司会者が三島郡出雲崎中学校と紹介しましたが「みしまぐん」と繰返すのにはガッカリ。しかも信越放送のアナウンサーが、子供達を審査する主

年会費の納入にご協力を！

当会が淀みなく運営されるのも、皆様からの年会費が大きな役割を果たしており、心より感謝申し上げます。又、今回の定時総会に都合で欠席される方々には、お手数をお掛けいたしますが、同封の郵便振替用紙にてお振込下さいますようお願い申し上げます。

会計委員会

追悼抄

相談役 中川 栄吉氏

幹事組織委員 柿倉 正義氏

東京出雲崎会の活動に対し温かな愛情をもつてご尽力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

ここに謹んでお悔やみとご冥福をお祈り申し上げます。

合掌

